



キラリ事業所訪問 31 選ばれる施設を目指して

「職員はかけがえのない人財、育てなくちゃ」

社会福祉法人 あと会 常務理事 横山輝代子さん

高齢者向け施設を数多く手掛ける「社会福祉法人 あと会」。2012年にオープンした介護つき有料老人ホーム「でじま・くにくさ」では、国内初となるスウェーデン方式の「コンタクトマン制度」を導入し、コンセプトデザインを元BMWグループのチーフデザイナーに依頼するなど、斬新な取り組みが注目を集めています。

あと会の経営理念でもある「やすらぎ・よろこび・ゆたかさ」の“3Yのこころ”は、利用者、その家族と職員が信頼関係を築き、人生の最期までその人らしく輝き続けられる生きがいのある豊かな生活を提供することを目指すもの。3Yの精神は、あと会の全職員にも向けられています。

「この仕事が好きだからこの業界に入ってきた人を、つぶしてはいけない。育てなくちゃ」と話す、同会常務理事の横山輝代子さん。研修は「新人研修」をはじめ「階層別研修」「全員参加型研修」「職種別研修」などがあり、それぞれの講師は学びたい内容を第一線で手がけるルーツとなる人に依頼。「ソフトのコストがかかっても学べるものが多い」と言い切ります。2000年から海外研修もスタート。福祉先進国スウェーデンと交流し、相互職員の人材交流としてスウェーデンのスタッフを同会で受け入れ、同会のスタッフをスウェーデンへ派遣。本人だけでなく現場全体に刺激を与えマンネリ化を防ぎ、一人ひとりの自主的なブラッシュアップを加速させています。職員のやりたいこと、目標のために必要な場や機会を提供する職場であることに力を注いでいます。

「研修をするのは当然のこと。大切にしているのは、一人ひとりの声を聞き、きちんと職員を見ることです」。例えば、大学や専門学校から採用した新人の仕事ぶりを、卒業校に報告にいきます。落ち込んだり悩んだりしている時には、卒業校のゼミの先生に相談。「学校はその子にとって実家のような場所、性格やクセなどをよく知っていますから」と一人ひとりのゼミを把握しています。そんな地道な活動が大学や専門学校との

信頼関係を育み、人材確保につながっています。また、現場の先輩職員には、「自分の子どもだったらどうする?」と問いかけます。「自分の子がかわいいと感じると同じようにかかわれば、その人を知りたくなるし理解したくなる。お互いの信頼関係で悩みが軽くなるはず」と横山常務理事は言います。

職員の仕事を認めてほめたたえ、指導するときははっきりと言うのが同会の教育方針。「誰のために一生懸命になるのかを忘れず、利用者に

合わせたケアを実践することを全職員に共通認識として持つてほしい」。方向性をしっかり示すことは、法人の責任だと言います。「介護はやらされているという感覚では続けられない。幸せ感や愛情を感じていないとダメ。顔が輝いていないと、いい介護はできないと考えます。利用者も職員も、あと会にきて幸せになったと言ってもらえたらうれしいですね」と顔をほころばせます。



50歳からこの仕事を始めたという横山輝代子さん。「全国を飛び回っているので、各地の食材探しをするのが楽しみ。食べるのも作るのも好きで、1日の喜びはおいしいものを食べて、それをおいしいと言ってくれること」。スタッフに手作りカレーを振る舞うこともあるそうです

<DATA>

医療法人社団・社会福祉法人あと会グループ

広島市安芸区阿戸町418-1

☎082-856-0222 <http://www.kunikusa.or.jp/>

未来につなぐ人財育成のエッセンス②①

介護報酬改定と人材確保

一般社団法人リエゾン地域福祉研究所 代表理事 丸山法子

(社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員 生涯学習開発財団認定コーチ NLPマスタープラクティショナー)



春の訪れが気になる今。介護保険事業者に支払われるサービスの対価である介護報酬の総額を2.27%引き下げ、同時に介護職員の月給を12,000円程度上げるなどの方針で報酬改定がおこなわれます。待遇改善に向けた対策を進めながら介護人材の確保をしようというのですが、事業者の利益は減ることから、職員削減やサービス低下が起きるのではないかと危惧されています。

人材確保に苦勞する時勢にあっても職員になりたいと求人待たれている法人もあります。「ここで働きたい」という施設や事業所は、退職者を待たず、見えない行列ができています。そこにはなにがあるのでしょうか。

話は変わりますが、今回の介護報酬改定のニュースは介護職員自身もご存じです。更衣室ではそうした話題でもちきり、もうすでに自分の月給に足し算してみたりして、ワクワク感満載です。ところが、実際に給与明細を見たとき、期待はずしな現実をどう感じるでしょうか。正直、がっかりしますね。その次には、経営者への不信がおきます。そしてさらにはモチベーションの低下が利用者へのケアサービスの質の低下をもたらすことがあるかもしれません。

法人として、赤字とわかっている経営はできないので、苦肉の策として給与のコントロールをせざるを得ないこともあるかもしれません。しかし、それによって職員の士気を下げるのは避けたいところ。このピンチをどう考えるか、です。つまり、たとえ給与が下がったとしてもモチベーションを上げ続けるためにどうしたらいいか、です。

一般に、給料の高さと職場定着率は比例するとは限らないといわれています。離職の大きな理由は、人間関係と仕事の内容という調査結果があるからです。具体的には、人間関係とは、職員同士、上司部下が険悪という職場の雰囲気が悪いということ。仕事の内容とは、したい仕事ができない、指導してもらえない、仕事のやりがいが見られないというものです。つまり、上司部下が言いたいことを伝え合い、聞き合える職場であり、なおかつ法人の理念がしっかりとあってそれに沿った仕事を充分することができ、評価が得られ、職員の成長を法

人が応援してくれていると実感できる職場といえます。

行列のできる職場の5つの共通点

- スタッフ同志、良好なコミュニケーションがとれている
- めざすべき介護の理念がはっきりしている
- ある程度職員の裁量があり、思う存分仕事ができる
- 仕事の評価があり、成長をバックアップしてくれる
- 経営者や上司に信頼を寄せている

さて、行列のできる法人がこの報酬改定をどうのりきるかについて考えてみましょう。職員へ、新年度からの報酬改定にともなう変更項目等を説明する場面です。その順番はこうです。

- ①法人の理念を伝える
- ②介護報酬改定の背景と決定事項とその理由を伝える
- ③それを受けて法人の決定事項とその理由を伝える
- ④再度理念を伝え、大切にしたいことを伝える
- ⑤そのために法人は職員一人ひとりにどんなふうに向き合い、支援するのかを伝える

いかがでしょうか。よくあるのは、結論だけを伝え、それについての質問には答えないという残念な様子をいくらか拝見することがあります。これでは信頼がそこなわれてしまいます。しかし、ここまで説明できれば職員も「この職場で働きたい」という気持ちになります。仮に思ったほど給料が上がらなくても、自分のことを大切にしてくれる職場なのだといっただけでモチベーションが上がります。人間の心理ですね。

さて。まずは、あなたの職場について、上記の5つのポイントをチェックしてみましょう。チェックはあくまで客観的に。施設長の目の届かないことがたくさんあるという前提で、さりげなく数人のリーダーにも確認してみてください。達成できていない点は、説明に説得力がありません。なんとか改善すべき点です。どのように改善するかを具体的に決定したならすぐにそれを職員へ報告することをお忘れなく。

リエゾン地域福祉研究所

介護を語るあなたへ贈る本

「もの忘れカフェの作り方 認知症、工夫次第でなんとかなる」

奥村 典子、藤本 直規 (著) 徳間書店 : 出版

「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」で「認知症カフェの推進」が入り、全国いくつもの地域で、「カフェ」という名前がつけられた集まりが始まったことで、著者のクリニックにももの忘れカフェの見学や取材の申し込みが続いたといいます。認知症の人たちがほっとでき、介護する家族が元気を取り戻せる場所をつくりたいときに、認知症の段階にそってどのように取り組めばいいのかわかりやすく解説しています。



<地域包括ケアのなるほどキーワード> 生活支援サービスはコラボして

介護予防・日常生活支援総合事業がスタートします。これは、在宅生活をおくる元気な高齢者のために、「あると助かる」小回りの利くようなサービスが今後ますます必要とされるため、そうした取り組みに自治体から補助を受けるという方向です。高齢者の元気を維持し、なにかあったら即対応のできる体制づくりが目標ですが、小規模事業所にとってはサービス体系を増やすことで販路が拡大し、経営体質の向上につながります。ただ、人員もぎりぎりで行っているわけですから単独ではなかなかすぐにはできないもの。そこで他社とのコラボです。連携や協働するということですが、双方の強みを生かして弱みを補い合い、事務の効率化も実現できるのであれば検討する価値もありそうですね。

住み慣れた地域で暮らす高齢者の健康サポーター「訪問看護師」 「最期まで、自分らしく過ごしたい、過ごさせたい。不安への対応」

訪問看護ステーション「さいの」看護師 玉田八重子



事例

Yさん92歳 女性 心不全 腎臓がん末期 肺・肝臓転移
独居(要介護2)で通所介護と訪問介護を利用していたYさん。腹や腰等の痛みが強くなり「腎臓がん末期」と診断後、娘宅に転居。同時に要介護4に認定変更、通所、訪問介護に加え訪問看護が開始になりました。

経緯

初回訪問時、痛みが強く眠れない、食べられない、呼吸時のゼロゼロ、浮腫がありました。まず、痛み止め(オピオイド:医療用麻薬)の正しい飲み方・作用・副作用等を説明して痛みは取れました。食事、呼吸状態、浮腫等状態を医師に報告、ステロイド剤や利尿剤等の薬で一時的に軽快されました。畳に布団から電動ベッド(3モーター)と除圧マットに変更。「在宅で看取りたい」との希望があり、医師に伝え、手作りの「看取りの冊子」を渡し、症状変化の都度、説明をして不安を軽減しました。2カ月後、「ゼロゼロが強い」と不安の電話があり、死前喘鳴、命の限界が近くなっていることを伝え、不安に寄り添い、やがて、在宅で安らかな看取りをされました。

看護師の判断

訪問開始直後から自宅で看取りを望む本人・家族の意向をつねに確認しながら、苦痛と不安が軽くなるような支援を考えました。在宅で安心して過ごすためには、痛みがなく、良く眠れて、食事ができることが大

事です。まず、医療用麻薬の使い方、副作用の管理、その他薬でコントロール可能な症状変化は細かく医師に報告して苦痛の緩和を考えました。病状と死が近づく時の変化は予測しながら具体的な説明が何度も必要です。また、家族の思いを傾聴するとともにツールを使って近づく「死」の状態を伝えたことで、安心して看取ることができたとのことです。

ここチェック! 痛みを伴うがんの終末期にある家族の不安

●在宅でも痛みを取ってもらえるの?

①痛みのコントロールは、病院と同じように在宅で充分にできることを伝える(医療用麻薬で内服・座薬・貼り薬などがあることを伝える)。

●最期の看取りはどうしたらいいの?

①本人・家族にとって一番良いと思われることを一緒に考える。

②どこで最期を迎えたいのか。家族はどうしたいのか。折に触れ、確認をする。

③自宅で最期を迎えることがベストではない、その時々で思いが変わってよい、そのために罪悪感を持たなくてよいことを伝える。

④在宅死を望む場合、そのことを医師に伝える。

⑤訪問看護師は、24時間いつでも連絡・訪問ができることを伝える。

caps 新 商 品 の お 知 ら せ 好評発売中!

「書く」と「捺す」が1本ででき、訪問時などの持ち歩きに便利です。
ネーム印は、インクの補充なしで約3,000回捺すことができます。

ネームペンQ



- クリア
- クリアピンク
- クリアオレンジ
- クリアグリーン
- クリアブルー

商品番号140015

1本1,100円税抜

ネームペン プリモ



- シルバー
- ブラック
- パールピンク
- パールブルー
- ホワイト

商品番号140115

1本1,800円税抜

■ご注文の際は

- ①本体の色をお選びください。
- ②印面の内容をお知らせください。(事業所名/お名前)
- ③書体をお選びください。(楷書/行書/丸ゴシック)

■発送までに1週間~2週間程度かかる場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。

■なつ印見本

3種類の中から選べます。



■インキ色

朱色

その他の色はお問い合わせください

※実際の印刷色は若干異なります。

※紙の色の影響で、印刷色が若干異なって見えることが有ります。

山田 奈穂

<http://naho2013.blog.fc2.com/>



ほつとお手入れ 顔の老化につながる“冷え顔” 指マッサージで血流アップ

体や手足の冷えは気になっても、顔の冷えを気にすることは意外と少ないのではないのでしょうか。寒さで血管が収縮し血流が滞ると酸素や栄養分が細胞に十分に届かなくなり、新陳代謝が悪化して体温が下がります。すると老廃物が排出されにくくなり、肌表面に古い角質がたまってゴワゴワに。肌の乾燥の原因にもなります。顔の皮膚は薄いうえに、いつも外気に触れているので寒さに敏感。“冷え顔”は肌のきめの乱れやくすみ、しわ、たるみといった顔の老化につながるので注意が必要です。

効果的な対策の一つはマスクの着用。加湿効果も期待できます。そして、首回りをマフラーやストール、ハイネックの洋服で覆って冷やさないこと。首を冷やすと頭の血流が悪くなり、顔の冷えが進んでくすみを引き起こします。食生活では、食べ過ぎやジャンクフード、寝前の食事は内臓に負担をかけるので控えて。ショウガや根菜類の摂取がおすすめです。

体は冷えを感じると、大切な内臓部分を温めようと多くの血液が体の中心に集まります。末端まで血液が行きわたらなくなって末端冷え症に。つまり、冷え顔は体が冷えている証拠です。神経が集中する手をマッサージして、脳や体全体の血流をアップさせ体の冷えを和らげましょう。

■指マッサージ

①手を組んで指を締め付けるように引き抜く



②指を1本ずつ反対の手で握り、付け根から指先に向かってねじり上げる



※取材協力/エステ・整体サロン MIU (東広島市)

旬カメラ 保存食としてのビスケット

2月28日はビスケットの日。ビスケットの歴史は安政2年(1855年)までさかのぼり、保存がきく食糧という点が注目されたことが起源です。現在でも災害用の保存食として活躍しています。いざという時に困らないように、保存食の味や食べ方、賞味期限を確認する防災ピクニックを行うグループもあるようです。



1.2.3...? 気になる数字

高速道路の逆走、高齢者が66.7%

昨年、高速道路を逆走した車が起こした人身事故は11月末時点で21件(うち死亡事故5件)あり、66.7%(14件)の運転手が65歳以上の高齢者だったことがわかりました(警察庁調べ)。そのうちのおよそ4割には認知症の疑いがあるとみられています。こうした事故を減らそうと75歳以上の高齢者ドライバーは免許更新の際に認知機能検査を受験することが義務づけられています。判定されても医師の

診断なしに更新ができるのが現状です。そこでこのたび、認知症のおそれがあると判定された人には医師の診断を義務づけ、正式に認知症と診断された場合、免許の停止や取り消しになるという道路交通法の改正案が出されています。制度改正と同時に私たちは、なぜ高齢者自らが運転しなければならないのかを考え、そこを代替できる仕組みづくりに取り組む必要があるのではないのでしょうか。

編集後記

2月ともなると、あれほど心に誓った「新年の宣言」なるものも色あせてしまいます。今年の目標は、いままでできないと思っていた壁を打ち破り、チャレンジすることでした。そこで仕事を断捨離し、残業をやめて休日を増やせば、趣味のヨガや津軽三味線もできる。出張ついでにライブや美術館めぐりにもいきたい。しばらく海外もこぶさたなのでアジアの介護施設の見学やスカイダイビングも、と夢は広がります。ところが気づけばもう2月…。目標や宣言はいいけれど、実際にどうするかを決めないと。というところで決めました! …内緒ですけど…。

(丸山)

きゃぶす便り定期購読について

きゃぶす便りの定期購読をご希望の方は、お届け先の郵便番号、住所、事業所名(ご氏名)、「きゃぶす便り定期購読希望」と明記の上、下記フリーダイヤルFAX宛てにお送りください。無料でお届けします。

FAX 0120-47-1704